

# 「令和3年度に実施した仕事」の振り返りシート（B：裁量無及びその他）

記入日 令和 4 年 4 月 15 日

事業名称		土地取引事務費 [ 土地取引関係事務 ]									
予算科目	款 8	土木費	項 3	都市計画費	目 1	都市計画総務費	事業番号	11			
事業の種別	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せなし)										
	<input type="checkbox"/> 課内庶務等 <input type="checkbox"/> 休止したもの <input type="checkbox"/> 廃止したもの										
担当部署・課長名	総務管財 課 用地管財 係					課長名	宮田 智雄				
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。						施策番号	4 - 2				
【施策名】 良好な住宅環境の形成						総合計画書(ページ)	85				
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。					① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)					
	①国土利用計画法の届出 ②公有地の拡大の推進に関する法律の届出又は申出 ③地価公示図書					①届出件数 ②届出及び申出件数 →③閲覧場所数					
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]					② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)					
①適正に処理する。 ②適正に処理する。 ③閲覧できるようにする。					①東京都送付件数/届出件数×100 ②買取希望の有無等の通知件数/届出及び申出件数×100 →③地価公示図書備付箇所数/閲覧場所数×100						
③ そのために何をしましたか。					③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)						
①届出書の形式審査を行い、届出書及び市長意見書を東京都に送付する。 ②各公共団体に買取希望の有無を照会し、有の場合は買取協議団体の決定を行う。買取希望の有無の通知及び有の場合は買取協議団体の通知を行う。 ③総務管財課窓口等の閲覧場所に地価公示図書を備え付ける。					①東京都送付件数 ②買取希望の有無の通知件数 →③地価公示図書備付箇所数						
2 指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度	成果目標				
				平成31年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度目標	令和5年度目標			
	対象指標	①の数値	①件	2	3	3	/	/			
			②件	6	5	9					
			③箇所	2	2	1					
	成果指標	②の数値	%	100.0	100.0	100.0	/	/			
目 標	②の目標値	%	100	100	100	/	/				
目標値設定の考え方(課内庶務、休止したもの、廃止したものを除く。) 法定受託事務であり、確実に処理を行うため。											
活動指標		③の数値	①件	2	3	3	/	/			
			②件	2	3	3	/	/			
			③箇所	2	2	1	/	/			
3 経費	事業費(実績)		円	63,582	66,352	57,706	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,250,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】令和2年度決算数値(退職手当組合負担金、共済費も含む。)				
	財源	一般財源	円	22,582	25,352	19,706					
		特定財源	円	41,000	41,000	38,000					
	(うち受益者負担)		円	0	0	0					
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.3	0.3	0.3					
		所要人数(再任用)	人	0.0	0.0	0.0					
		職員人件費(再任用以外)	円	2,493,000	2,514,000	2,475,000					
職員人件費(再任用)		円	0	0	0						
事業費+人件費		円	2,556,582	2,580,352	2,532,706						
4 課題	今後の課題(仕事の最適化・合理化の提案) ※廃止したものを除く										
	特に問題はないため、今後も適正に処理を行っていく。										
5 今後の方向性	仕事の方向性(「4課題」の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など) ※廃止したものを除く										